

令和5年11月14日

各位

トモニホールディングスグループの令和6年3月期第2四半期決算概要について

トモニホールディングス（本社：香川県高松市、社長：中村 武）は、令和6年3月期第2四半期（令和5年4月1日～令和5年9月30日）連結業績等の概要と、当社グループの中核企業である徳島大正銀行（本店：徳島県徳島市、頭取：板東豊彦）及び香川銀行（本店：香川県高松市、頭取：山田径男）の単体業績等の概要について発表いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. トモニホールディングス

(1) 令和6年3月期第2四半期（令和5年4月1日～令和5年9月30日）連結業績

当第2四半期における経営成績につきましては、経常収益は、貸出金利息及び有価証券利息配当金の増加により資金運用収益が増加したことに加え、役員取引等収益が増加したこと等により、前年同期比5,277百万円増加して42,427百万円となりました。経常費用は、与信関連費用が減少したものの、外貨調達に伴う外国為替売買損の増加によりその他業務費用が増加したこと等により、前年同期比3,977百万円増加して31,591百万円となりました。その結果、経常利益は前年同期比1,300百万円増加して10,836百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比166百万円増加して7,014百万円となりました。

当第2四半期末における財政状態につきましては、総資産残高は前年度末比1,364億円増加して4兆6,877億円となり、純資産残高は前年度末比51億円増加して2,524億円となりました。また、譲渡性預金を含む預金等残高は前年度末比1,196億円増加して4兆2,664億円、貸出金残高は前年度末比884億円増加して3兆4,837億円、有価証券残高は前年度末比123億円減少して6,792億円となりました。

		令和6年3月期 第2四半期	
		前年同期比	
損益	経常収益	42,427百万円	5,277百万円
	経常費用	31,591百万円	3,977百万円
	経常利益	10,836百万円	1,300百万円
	親会社株主に帰属する中間純利益	7,014百万円	166百万円
		令和6年3月期 第2四半期末	
		前年度末比	
主要勘定残高・諸比率	総資産	46,877億円	1,364億円
	純資産	2,524億円	51億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	42,664億円	1,196億円
	貸出金	34,837億円	884億円
	有価証券	6,792億円	△123億円
	自己資本比率（国内基準）	8.88%	0.02%

(2) 令和6年3月期通期（令和5年4月1日～令和6年3月31日）連結業績予想

令和5年5月15日に公表しております令和6年3月期通期の連結業績予想（経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益）につきましては、以下のとおり修正しております。

①修正内容

（単位：百万円）

	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想（A）	15,950	10,800
今回修正予想（B）	18,950	12,350
増減額（B-A）	3,000	1,550
増減率（%）	18.8	14.3

②修正理由

当社の銀行子会社2行において、第2四半期までの資金利益及び役員取引等利益が当初予想を上回ったこと等により、令和6年3月期第2四半期累計期間の連結業績は当初予想を上回る結果となりました。こうした第2四半期までの業績を踏まえて、令和6年3月期通期の連結業績予想を上方修正するものであります。

2. 徳島大正銀行

(1) 令和6年3月期第2四半期（令和5年4月1日～令和5年9月30日）単体業績

当第2四半期の損益状況は、経常収益は、貸出金利息、有価証券利息配当金及び役員取引等収益が増加したこと等により、前年同期比2,478百万円増加して23,347百万円となりました。

また、コア業務粗利益は、資金利益が増加したこと等により、前年同期比681百万円増加して15,743百万円となり、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、経費が減少したこと等により、前年同期比772百万円増加して6,867百万円となりました。

経常利益は、与信関連費用が減少したこと等により、前年同期比1,168百万円増加して6,461百万円となり、中間純利益は、前年同期比578百万円増加して4,360百万円となりました。

当第2四半期末の主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を含む預金等残高は、法人預金を中心として増加し、前年度末比481億円増加して2兆3,632億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前年度末比531億円増加して2兆4,891億円となりました。また、貸出金残高は、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取り組みました結果、前年度末比449億円増加して1兆9,501億円となりました。なお、自己資本比率（国内基準）は8.15%となりました。

金融再生法開示債権額は、前年度末比398百万円減少して37,582百万円、総与信に占める割合は1.89%となりました。

		令和6年3月期 第2四半期	
			前年同期比
損益	経常収益	23,347百万円	2,478百万円
	コア業務粗利益	15,743百万円	681百万円
	コア業務純益	6,867百万円	772百万円
	経常利益	6,461百万円	1,168百万円
	中間純利益	4,360百万円	578百万円
	本業利益（外貨調達コスト控除後）	4,212百万円	548百万円
	与信関連費用	△18百万円	△801百万円
		令和6年3月期 第2四半期末	
			前年度末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	25,379億円	391億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	23,632億円	481億円
	総預り資産	24,891億円	531億円
	貸出金	19,501億円	449億円
	有価証券	3,722億円	4億円
	自己資本比率（国内基準）	8.15%	0.00%
不良債権	金融再生法開示債権額	37,582百万円	△398百万円
	総与信に占める割合	1.89%	△0.07%

(2) 令和6年3月期通期（令和5年4月1日～令和6年3月31日）単体業績予想

令和5年5月15日に公表しております令和6年3月期通期の単体業績予想（経常利益及び当期純利益）につきましては、以下のとおり修正しております。

（単位：百万円）

	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	8,800	6,050
今回修正予想（B）	10,850	7,350
増減額（B-A）	2,050	1,300
増減率（%）	23.2	21.4

3. 香川銀行

(1) 令和6年3月期第2四半期（令和5年4月1日～令和5年9月30日）単体業績

当第2四半期の損益状況は、経常収益は、貸出金利息及び株式等売却益が増加したこと等により、前年同期比2,921百万円増加して16,655百万円となりました。

また、コア業務粗利益は、資金利益が増加したこと等により、前年同期比429百万円増加して12,153百万円となり、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、前年同期比377百万円増加して4,983百万円となりました。

経常利益は、前年同期比438百万円増加して4,533百万円となり、中間純利益は、法人税等の影響により、前年同期比29百万円減少して2,911百万円となりました。

当第2四半期末の主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を含む預金等残高は、個人・法人預金ともに増加し、前年度末比717億円増加して1兆9,079億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前年度末比722億円増加して2兆472億円となりました。また、貸出金残高は、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取組みました結果、前年度末比437億円増加して1兆5,422億円となりました。なお、自己資本比率（国内基準）は9.54%となりました。

金融再生法開示債権額は、前年度末比1,720百万円増加して29,863百万円、総与信に占める割合は1.89%となりました。

		令和6年3月期 第2四半期	
			前年同期比
損益	経常収益	16,655百万円	2,921百万円
	コア業務粗利益	12,153百万円	429百万円
	コア業務純益	4,983百万円	377百万円
	経常利益	4,533百万円	438百万円
	中間純利益	2,911百万円	△29百万円
	本業利益（外貨調達コスト控除後）	3,381百万円	703百万円
	与信関連費用	253百万円	△112百万円
		令和6年3月期 第2四半期末	
			前年度末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	21,451億円	971億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	19,079億円	717億円
	総預り資産	20,472億円	722億円
	貸出金	15,422億円	437億円
	有価証券	3,055億円	△127億円
	自己資本比率（国内基準）	9.54%	0.08%
不良債権	金融再生法開示債権額	29,863百万円	1,720百万円
	総与信に占める割合	1.89%	0.06%

(2) 令和6年3月期通期（令和5年4月1日～令和6年3月31日）単体業績予想

令和5年5月15日に公表しております令和6年3月期通期の単体業績予想（経常利益及び当期純利益）につきましては、以下のとおり修正しております。

（単位：百万円）

	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	6,700	4,500
今回修正予想（B）	8,050	5,200
増減額（B-A）	1,350	700
増減率（%）	20.1	15.5

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

トモニホールディングス株式会社 経営企画部

TEL：087-812-0102

株式会社徳島大正銀行 企画部

TEL：088-656-1118

株式会社香川銀行 総合企画部

TEL：087-812-5132